

宮城県看護協会主催 医療的ケア児等看護師研修が開催されました

2023年3月29日（水）に宮城県看護協会が主催の医療的ケア児等看護師研修が開催され、病院、保育施設、支援学校に勤務する看護師や潜在看護師15名が参加しました。講師は、あおぞら診療所ほっこり仙台の田中医師と宮城県医療的ケア児等相談支援センターちるふあの看護師の三浦様、くりはら介護塾の看護師、遠藤様と菅原様の4名が務めました。

まず初めに田中医師から「医療的ケア児への支援」と題して、実際の現場のことについてお話いただきました。続いて三浦看護師からは、自身の一日の業務の紹介や、ケア対象者への支援の様子について動画を用いて話していただきました。また福祉職と看護師それぞれの立場からできる支援があるので、お互いの職をリスペクトし合って業務にあたって欲しいと心強いメッセージをいただきました。

続いて、くりはら介護塾の遠藤看護師から、喀痰吸引の概論についてお話いただきました。特に、吸引は単に口腔や鼻腔の唾液を取るだけではなく、気道閉塞による窒息が起こらないようにすることが重要であるということを中心にお話いただきました。

その後、参加者は2グループに分かれ、シミュレータを用いて吸引の一連の流れやバックバルブマスク換気、経管栄養について講師のデモンストレーションを通して確認しました。

参加者からは講師が話す一つ一つの言葉も聞き逃さないように耳を傾けメモを取る真剣な姿勢が見て取れました。

